

我が県土
支え育む
希望郷

美しい 県土づくりNEWS

2017年

10月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第159号
平成29年10月31日発行
編集 県土整備企画室



目次

- 2 大船渡市 越喜来地区海岸の防潮堤災害復旧工事が完了！
- 4 いわて建設業みらいフォーラムを開催しました
- 6 岩手広告景観タウンミーティングを開催しました
- 7 震災以来初となる香港からのチャーター便が到着
- 8 建設現場を巡るツアー 建設工事現場見学会を開催しました
- 9 第14回岩手「道の駅」いーはとーぶスタンプラリー開催のお知らせ

三陸復興

大船渡市 越喜来地区海岸の 防潮堤災害復旧工事が完了！

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

平成29年9月30日、東日本大震災津波により甚大な被害を受けた大船渡市三陸町の越喜来地区海岸の防潮堤災害復旧工事が完了しました。

越喜来湾では、東日本大震災津波により海岸防潮堤が倒壊・流失し、市街地も壊滅的な被害を受けました。復旧に当たっては、数十年から百数十年に一度程度発生すると想定される津波（L1津波）に対応できるよう防潮堤の高さを見直したうえで、延長947.5mにわたる防潮堤を復旧しました。



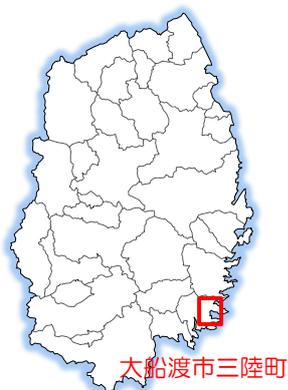
撮影：(株)安藤ハガマ・(株)銭高組・樋下建設(株)特定共同企業体（平成29年9月）

越喜来地区海岸防潮堤の復旧に向けた取組

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

本工事は、まだガレキ撤去が行われていた平成 25 年3月に着工しました。各地の復旧・復興工事の本格化等により作業員や資材が不足する中、遠隔地から資材を調達するなど受注者と一体となって工事を進め、発災から約6年半後の完成となりました。現在は、当海岸内にある水門2基（浦浜水門、泊水門）の上屋、設備工事を行っており、年度内の完成に向けて工事を進めています。

位置図



越喜来地区海岸の概要・津波による被害

越喜来地区海岸は、越喜来湾の奥に位置する海岸であり、震災前の防潮堤背後には、大船渡市役所三陸支所、越喜来小学校など旧三陸町の市街地が広がっていました。

東日本大震災津波により、海岸防潮堤が倒壊・流失し、市街地も壊滅的な被害を受けました。**越喜来湾の津波痕跡（岩手県調査）は T.P.*+16.9m** となり、被災前の防潮堤高 T.P.+7.9m を大きく超える津波が確認されました。

※T.P.（東京湾中等潮位）：東京湾の平均海面を基準とした水位の高さ



被災前（平成 22 年 3 月 14 日）



被災後（平成 23 年 3 月 29 日）

災害復旧工事の概要

越喜来湾では、数十年から百数十年に一度程度発生すると想定される津波(L1 津波)に対応するため、新たな防潮堤高を T.P.+11.5m としています。

また、当海岸では、震災後に浦浜川右岸に発生した砂浜地形を生かすため、当該区間の防潮堤法線を陸側に下げる計画としました。

【工事概要】

工事名：越喜来地区海岸災害復旧（23 災 519 号及び 606 号）工事

箇所名：大船渡市三陸町越喜来字沖田地内

工期：平成 25 年 3 月 7 日～平成 29 年 9 月 30 日

概要：復旧延長 947.5m、防潮堤工 889m、水門工 2 基、突堤工 240.5m、

施工状況写真



平成 27 年 2 月



平成 28 年 2 月

いわて建設業みらいフォーラム

を開催しました

建設技術振興課

平成29年10月19日(木)、岩手県民会館中ホールにて「いわて建設業みらいフォーラム」を開催しました。このフォーラムは、県民の安全で安心な暮らしに果たす建設業の役割やその魅力を積極的に発信することで、建設業のイメージアップを図り、次世代を担う若者をはじめとした県民の建設業への理解や関心を高めることを目的としたもので、今回で5回目の開催となります。

当日は県内の生徒・学生、建設業関係者など約300名以上の方々にご参加いただき、建設に係る取組事例の発表や建設業のこれからを語るパネルディスカッションを行ったほか、大船渡市出身のシンガーソングライター濱守栄子さんによるミニコンサートや企業ブースでの建設企業の紹介や技術展示が行われました。



中野県土整備部長



木下県建設業協会会長

主催の岩手県と県建設業協会をそれぞれ代表して、中野県土整備部長と木下県建設業協会会長から挨拶を行いました。

中野部長からは、建設業は災害対応や老朽化への対応などこれからも必要であり、i-Constructionによりクールな産業になっていくこと、木下会長からは、建設業の仕事は大変な部分もあるが、形に残るとてもやりがいのある仕事であることなどを生徒・学生ほか参加者へ伝えました。

第1部 建設に係る取組事例発表

実際に県内の建設会社で働く若手技術者を代表して、(株)小原建設の佐々木友紀さんと(株)平野組の菊池麻菜さんから、それぞれ土木工事、建築工事の現場での業務の内容や仕事のやりがい等について発表していただきました。

また、これから建設業に携わっていく学生、生徒を代表して、県立産業短期大学校建築科の学生から卒業研究の取組状況やものづくり競技会への挑戦等について、県立黒沢尻工業高校土木科の生徒からは地元建設業協会と連携した模擬面接指導の取組について発表していただきました。



佐々木友紀さん(株)小原建設



菊池麻菜さん(株)平野組



赤坂さん、新山さん(県立産業短期大学校建築科)



伊藤さん、藤田さん、古崎さん(県立黒沢尻工業高校土木科)

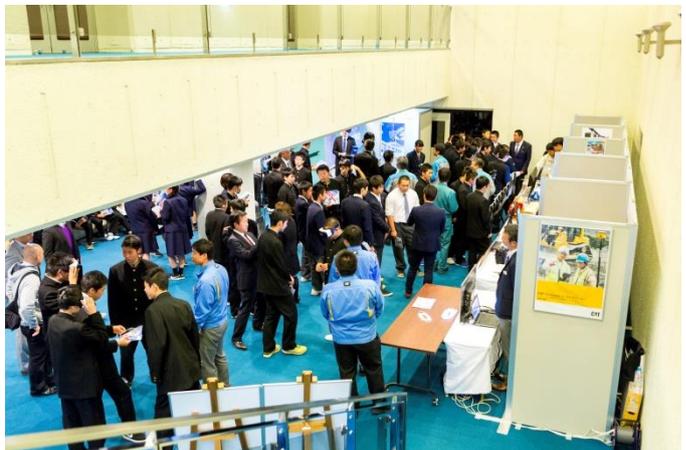
第2部 パネルディスカッション テーマ「建設業の今とこれから」

コーディネーターに、県建設業協会青年部連絡協議会会長の佐々木信行さん(高田工業(株)代表取締役社長)、パネラーとして、取組事例の発表者に、県土整備部下水環境課主任の櫻庭志歩さんを加えた意見交換を行いました。

建設業の社会的役割、働く環境づくり、ICTの導入、これからの目標等について、それぞれの立場から活発な意見交換が行われました。



第3部では、大船渡市出身のシンガーソングライター濱守栄子さんによるミニコンサートが行われ、東日本大震災や復興支援活動に関するトークと代表曲「国道45号線」をはじめとする素敵な歌で、ステージを彩っていただきました。



会場ロビーでは、県内建設会社による企業紹介や、ICT建機メーカーによる技術展示が行われ、参加者が興味深く積極的に見学していました。

フォーラムの成果と今後に向けて

フォーラム実施後、参加者からいただいたアンケートでは、

- ・現在の建設業について詳しく知ることができ、もっと若い人たちが建設業をやっていくことが大切だと感じた。(高校生)
 - ・実際に働いている方の話が聞けて、より建設業に興味を持った。(学生)
 - ・ロビー展示の企業はもう少し多い方が良く、資料だけでも多くの企業のものが見たい。(会社員)
- といったご感想、ご意見をいただきました。

今後も、ご意見を生かしながらかつて継続してフォーラムを実施していきたいと考えておりますので、皆様もぜひ次回フォーラムにご参加ください。

岩手広告景観タウンミーティングを開催しました

都市計画課

岩手県では、屋外広告業関係者等と共同で、身近な広告景観を通じて景観のあり方を考える「岩手広告景観タウンミーティング」を開催しています。

＜タウンミーティングの内容＞

まち歩きやワークショップを通じて、屋外広告業者・行政・地域などが情報を共有し、都市景観の中における屋外広告物の役割を理解しながら理想とする景観をともに考えることで、より良い広告景観を形成するため、タウンミーティングを開催しています。

平成26年度から4回目となる今年度は、学生や地元住民など約70名が6班に分かれて盛岡市内中心部をまち歩きし、気になる看板や案内板を写真撮影のうえ、ワークショップにて意見交換・各班発表を行いました。

学生も約20名が参加し、参加者からは、「景観づくりは、住民一人ひとりの意識が大切である」との意見も出るなど、広告と街並みの調和に対する意識の高さが伺えました。

＜第4回 岩手広告景観 タウンミーティング＞

日時：平成29年9月30日（土）10:30～16:30

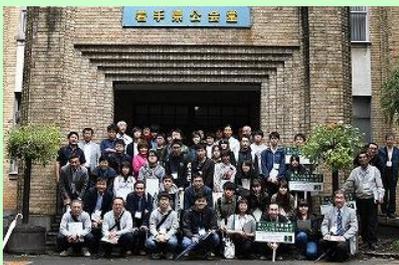
会場：岩手県公会堂 26号室

まち歩き：盛岡市 大手先・本町通・紺屋町・寺町 界限

主催：岩手県屋外広告美術業協同組合

共催：岩手県、盛岡市、滝沢市

＜タウンミーティングの様子＞



集合写真



まち歩き

意見交換

- 色あせた看板や老朽化した看板は、直した方が良い。
- 看板は周りの景色に合わせた方が良い。
- 普段気にならなかった看板も、今回の街歩きで良い点、悪い点に気づかされた。



ワークショップ



各班発表



震災以来初となる香港からのチャーター便が到着 ～秋の国際チャーター便歓迎セレモニー～

空港課

10月19日(木)16時20分、香港からのチャーター便がいわて花巻空港に到着しました。今回の香港からのチャーター便は、東日本大震災津波以来初となり、消防車による歓迎の放水アーチの中、149名のお客様が来県しました。

歓迎セレモニーでは、花巻空港国際チャーター便歓迎実行委員会の安藤昭会長が歓迎の挨拶を行いました。

このほか、県産りんご(ジョナゴールド)のプレゼント、龍泉洞PRキャラクター(龍ちゃん、泉ちゃん)とポニーによるお出迎え、岩手まるごとおもてなし隊による「さんさ踊り」の披露など、岩手県ならではのおもてなしで来県者をお迎えしました。



県産りんご配布



キャセイドラゴン航空チャーター便 歓迎セレモニー



歓迎実行委員会



消防車による放水アーチ



ポニーとの記念撮影

今年度の国際チャーター便は過去最大の運航数！

今年度の国際チャーター便の運航数は、**合計152便**(台湾便146便、タイ便4便、香港便2便)となり、**過去最大の便数となる見込み**です。

※これまでの最高は平成26年度の102便(台湾98便、韓国便4便)

建設現場を巡るツアー

建設工事現場見学会を開催しました

盛岡広域振興局 土木部

建設業への関心を深め、魅力を伝えるきっかけとして、盛岡広域振興局管内の3つの建設現場を巡る見学会を平成 29 年 10 月 14 日（土）に開催しました。

見学会には子どもから 70 代までの 35 人が参加し、普段入ることのできない工事現場を間近で見学し、現場の迫力を肌で感じていました。

見学箇所：築川ダム、手代森トンネル※、矢巾スマートインターチェンジ
主 催：盛岡広域振興局・（一社）岩手県建設業協会盛岡支部
アンケート結果から感想を紹介します。

- ・工事中でもかなり近くでいろいろ見られたので感激でした。
- ・ダムの見学は迫力があってよかったです。
- ・思った以上のすごさ、規模、機械などには驚きました。

築川ダム見学の様子



手代森トンネル見学の様子



矢巾スマートインターチェンジ
現場見学での体験の様子



測量機器体験
小型重機試乗体験をしたよ！

【当日行程】

岩手県庁前集合



① 現場見学
築川ダム



昼 食



② 現場見学
手代森トンネル ※



③ 現場見学
矢巾スマートIC



岩手県庁前解散

※手代森トンネルは休工中の現場を見学



第14回岩手「道の駅」いーはとーぶスタンプラリー 開催のお知らせ

道路環境課

第14回岩手「道の駅」いーはとーぶスタンプラリーが、平成29年11月1日（水）から平成30年4月22日（日）までの間開催されます。皆様の参加をお待ちしています。

●スタンプラリーの内容

A賞 いわてフルマラソン大賞	B賞 道の駅つめちゃったで大賞
32 駅全てのスタンプを集めて応募された方から、抽選で 10 名様に 10,000 円相当の岩手県内特産品をプレゼント！	15 駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で 32 名様に 5,000 円相当の特産品をプレゼント！
10 名様	32 名様
C賞 馬かったで賞	D賞 いーはとーぶ賞
8 駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で 96 名様に 3,000 円相当の特産品をプレゼント！	4 駅以上のスタンプを集めて応募された方から、抽選で 100 名様に県内道の駅で使える 1,000 円分の商品引換券をプレゼント！
96 名様	100 名様
Wチャンス賞	完走賞
A～D賞に当選しなかった全応募者の中から抽選で 100 名様に県内道の駅で使える 500 円分の商品引換券をプレゼント！	32 駅全てのスタンプを集めて応募された方全員に、完走証明書を発行！
100 名様	完 走 者 全 員

※道の駅「高田松原」は現在休業中です。

第14回 岩手「道の駅」いーはとーぶスタンプラリー

秋・冬のいわて路をエンジョイしよう！

開催期間：11.11(水)～18.4.22(日)

応募締切：平成30年4月24日(当日捺印有効)

主催：岩手県「道の駅」連絡会

協賛：岩手県河川国道事務所 調査第二課(直通) 019-624-3196
三陸国道事務所 交通対策課(直通) 0193-71-1718
岩手県県土整備部 道路環境課(直通) 019-629-5880 又は各道の駅まで。

- 応募ハガキは、県内の道の駅各駅にあります
岩手県内の「道の駅」に置いてある応募ハガキ（お1人様1枚）に各「道の駅」のスタンプを捺印し、必要事項を記入の上、切手を貼って応募してください。
- お問い合わせ先
岩手河川国道事務所 調査第二課（直通）
Tel 019-624-3196
三陸国道事務所 交通対策課（直通）
Tel 0193-71-1718
岩手県県土整備部 道路環境課（直通）
Tel 019-629-5880 又は各道の駅まで。

★これからの時期は、峠部等において路面凍結のおそれがあります。
★時間と車間距離に余裕を持った運転をお願いします。